昭和30年代

昭和55年

平成14年

令和元年

伊万里港

PORT OF IMARI

国土交通省 九州地方整備局
唐津港湾事務所

令和5年3月

伊万里港の概要

伊万里港は伊万里湾奥部に位置する天然の良港であり、古くより陶磁器の積出港及び大陸との海上交通の基地等、佐賀県北西部の物流拠点として地域の発展を担ってきました。

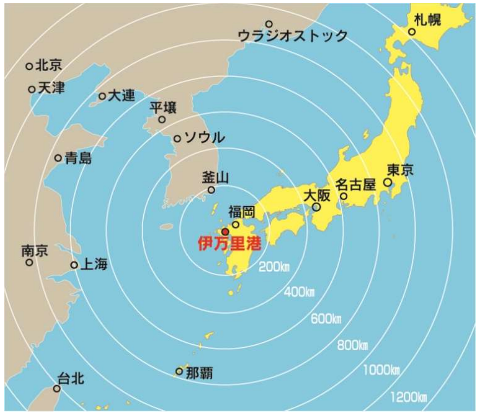
近代では、石炭の積出港として脚光を浴び、昭和26年に重要港湾に指定され、昭和30年には工業港並びに石炭積出港としての開発を骨子とした整備計画が策定され、整備が進められてきました。

その後、石炭産業の衰微に伴い港勢を失うこととなりましたが、産炭地域振興政策に沿って企業誘致活動が積極的に行われた結果、木材加工業、造船等の企業立地が促進されるとともに昭和46年及び昭和57年と順次港湾計画が改定され、県内唯一の工業港として港湾機能及び臨海部工業団地の整備が進められてきました。

昭和63年8月、港湾計画の一部変更が行われ、港湾活動の円滑化を図ることを目的とした伊万里港を横断する臨港道路整備事業(伊万里湾大橋等)が計画されました。臨港道路は、昭和63年に着工し、平成15年3月に暫定2車線で供用開始し、平成27年3月に4車線で供用開始されました。

平成3年12月に港湾計画が改定され、七ツ島地区の水深9m岸壁1バース、水深13m岸壁1バースに着手し、水深9m岸壁については平成9年4月よりコンテナふ頭として供用開始し、定期コンテナ船が就航しました。国際定期コンテナの取扱量は順調に伸びてきており、平成23年11月には「日本海側拠点港」に選定され、平成25年4月には水深13m岸壁が供用開始、更に令和4年8月に臨港道路七ツ島線(七ツ島大橋)を供用開始し、西九州地域の物資流通や生活等を支える重要な港湾となっています。

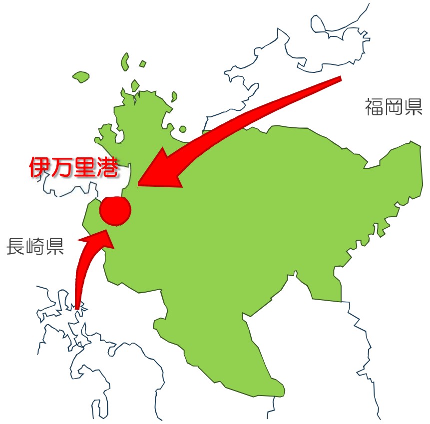
伊万里港の位置･アクセス



伊万里港はアジアとは地理的に近く、歴史的にも非常に深い関わりを持っています。
韓国ソウルと大阪はほぼ同距離にあり、釜山港にわずか約200km、また約1,000km圏内には上海、青島、大連といった中国の主要商業港が、関東地区と同じ距離に位置しています。

■伊万里港へのアクセス

♦福岡方面から
福岡市街地より車で約1時間20分。
♦佐世保方面から
佐世保市内より車で約50分。



伊万里港の主な地区

県内唯一のコンテナターミナルを有し、中国や韓国への定期航路も就航しています。
造船やセメント等の企業が立地しており、近年ではバイオマス発電企業も進出しています。

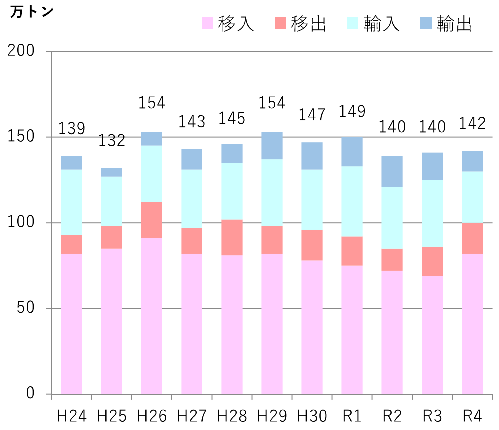
県内でも数少ない公共ふ頭がある工業団地で、佐賀県内で２番目に大きく、木材関連及び、ＩＣ関連企業が進出しています。

航路や、泊地整備による浚渫土砂等を埋め立てて形成されています。この区画すべてが埋まると福岡にある野球ドーム約１０個分という広大な土地が出来上がる予定です。

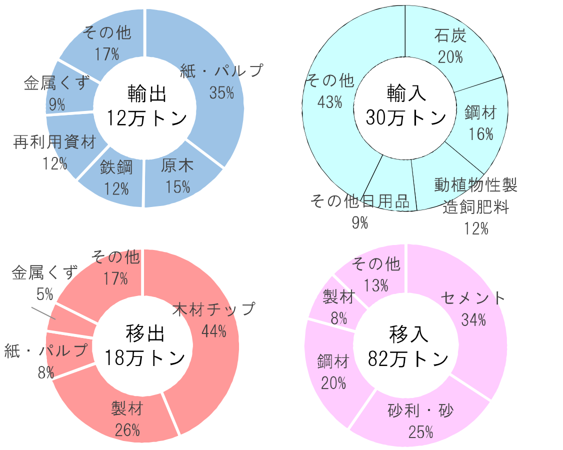
伊万里港の中でも古くから水面貯木場（現在は使用されていない）を使った木材関連企業が多く立地していました。現在は石炭、砂利・砂などの関連企業も立地しています。

伊万里港の取扱貨物量

【取扱い貨物量の推移】



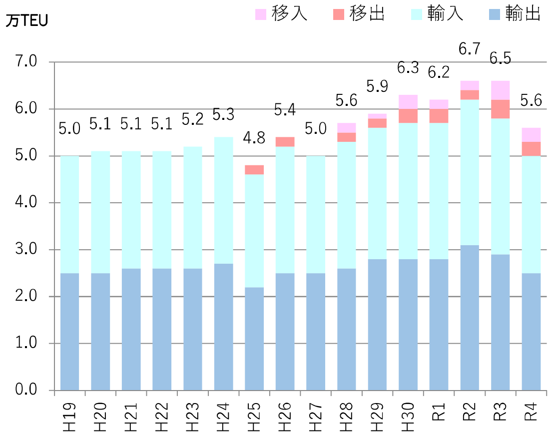
【取扱い貨物の内訳（令和4年）】



出典：伊万里港統計年報

コンテナ取扱い貨物量

【コンテナ貨物取扱量の推移】



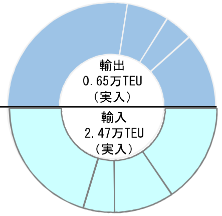
【コンテナ取扱貨物の内訳（令和4年）】

〈輸出〉

紙・パルプ	55%
原木・製材	13%
再利用資材	9%
その他	23%

〈輸入〉

家具装飾品	31%
その他日用品	19%
産業機械	10%
その他	40%

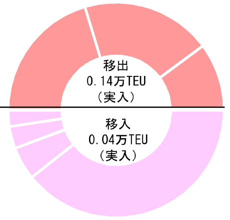


〈移出〉

紙・パルプ	41%
再利用資材	39%
原木・製材	20%

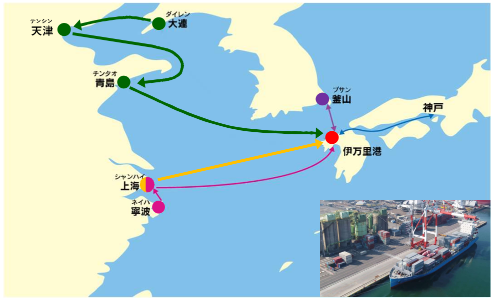
〈移入〉

鉄鋼	79%
その他輸送機械	10%
衣類・身廻品・はきもの・その他繊維工業品	7%
その他	4%



出典：伊万里港統計年報

国際コンテナ定期航路



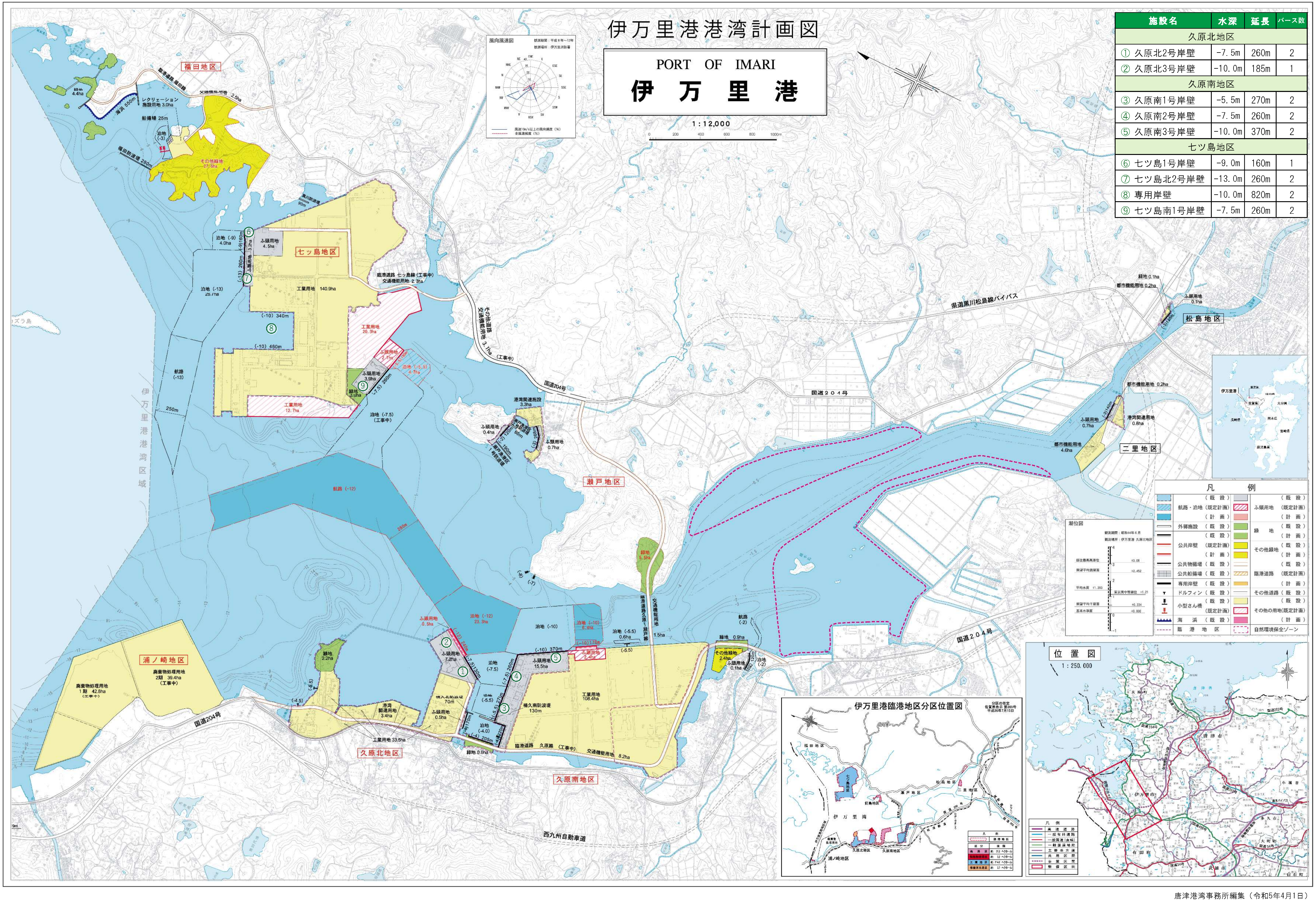
令和5年4月現在

伊万里港港湾計画図

PORT OF IMARI

伊 万 里 港

1:12,000



施設名	水深	延長	バース数
久原北地区			
① 久原北2号岸壁	-7.5m	260m	2
② 久原北3号岸壁	-10.0m	185m	1
久原南地区			
③ 久原南1号岸壁	-5.5m	270m	2
④ 久原南2号岸壁	-7.5m	260m	2
⑤ 久原南3号岸壁	-10.0m	370m	2
七ツ島地区			
⑥ 七ツ島1号岸壁	-9.0m	160m	1
⑦ 七ツ島北2号岸壁	-13.0m	260m	2
⑧ 専用岸壁	-10.0m	820m	2
⑨ 七ツ島南1号岸壁	-7.5m	260m	2

佐賀県地域交流部港湾課

唐津港湾事務所編集（令和5年4月1日）

事業概要

【臨港道路久原・瀬戸線】　予防保全事業（伊万里湾大橋）

伊万里湾大橋を含む臨港道路久原・瀬戸線は、平成15年に暫定2車線で供用し、平成27年より全4車線で供用しています。近年、他港において、台風の影響により錨泊していた船舶が流され、橋梁等に衝突し、橋桁等に甚大な損傷を与える事案が発生したことから、伊万里湾大橋においても、被害軽減のため、令和3年度に防衛工を設置しました。また、伊万里湾大橋は、架設から20年以上が経過し、塗装の剥離や部材の腐食が進行している状況にあることから、令和4年度より老朽化対策として補修工事を実施しています。

老朽化による補修が必要な箇所

【七ツ島地区】　国際物流ターミナル整備事業

伊万里港七ツ島地区のコンテナ貨物取扱岸壁の能力不足（バース数と水深不足）に伴う非効率な輸送形態を解消するとともに、コンテナ船の大型化に対応すべく、平成25年度までに水深13m岸壁、平成27年度までに水深13m航路泊地を整備しました。

また、七ツ島工業団地への企業進出やコンテナ取扱量の増加に伴う交通混雑の解消や貨物輸送の円滑な通行のため、令和4年度までに臨港道路七ツ島線（七ツ島大橋）を整備しました。

臨港道路七ツ島線（七ツ島大橋）

臨港道路七ツ島線
全長：977m x 2車線
橋梁部431m
陸上部546m
橋梁部(歩道)には一般公募より選出された、地元黒川町にちなんだパネル8枚を設置

伊万里港の歴史

縄文時代	BC 5000～3000	伊万里腰岳の黒曜石(石やり･石斧の材料)が西日本･朝鮮半島に船で運ばれる
古墳時代	AD400～500	大和政権が伊万里湾を交通の要所であると認め豪族に三角縁神獣鏡を与える(杢路寺古墳)
江戸時代	1614(慶長19年)	瀬戸塩田、長浜塩田が完工(塩だけでなく、陶器･磁器製造に必要なニガリも採取した)
	1659(万治2年)	伊万里焼(古伊万里)のヨーロッパ輸出本格開始「セラミックロード」
	1661(寛文初年)	紀州商人が伊万里津(「津」は「港」のこと)から伊万里焼の江戸送りを開始
明治・大正	1899(明治32年)	「長崎税関出張所」が設置
	1914(大正3年)	第一次世界大戦勃発により石炭の積出最盛期
	1916(大正5年)	「伊万里税関監視署」が設置
	1921(大正10年)	伊万里港が第2種重要港湾指定。遠洋漁業の基地として栄える
昭　和	1948(昭和23年)	久原地区の石炭ふ頭に着手。本格的な港湾整備が始まる
	1951(昭和26年)	伊万里港が重要港湾に指定 〔重要港湾：国際または国内の海上輸送網の拠点となり、国の利害に重大な影響を及ぼす港湾〕
	1953(昭和28年)	佐賀県による港湾管理者の設立
	1954(昭和29年)	伊万里市誕生(2町7村合併) 〔合併の主な理由；伊万里湾の総合開発のため〕

龍宮神社の藤棚

伊万里湾大花火大会

在りし日の七ツ島（昭和47年6月）

七ツ島大橋の欄干に設置されているパネルの一例

昭　和	1967(昭和42年)	関税法による開港(貿易港)指定 〔開港：外国貿易のために船舶が自由に出入りできる港〕 植物防疫法による輸入木材特定港指定 〔輸入木材指定港：木材の輸入ができる港〕 出入国港指定 〔出入国港：乗員乗客の出入国ができる港〕
	1970(昭和45年)	植物防疫法による植物輸入港指定〔植物の輸入ができるようになる〕
	1971(昭和46年)	検疫法による検疫港の指定
	1972(昭和47年)	七ツ島地区埋立開始
平　成	1991(平成3年)	伊万里湾大橋起工式、イマリンビーチがオープン
	1997(平成9年)	七ツ島地区でコンテナの取扱いを開始(釜山航路開設)
	2003(平成15年)	伊万里港臨港道路久原･瀬戸線(伊万里湾大橋)暫定2車線で供用開始 国際定期コンテナ航路3航路となる(釜山航路x2、大連航路)
	2004(平成16年)	国際定期コンテナ航路4航路となる(釜山航路、大連航路、華南航路、上海航路) 改正SOLAS条約施行
	2007(平成19年)	伊万里港臨港道路久原･瀬戸線(伊万里湾大橋)登坂区間(瀬戸側：約1.7km)が4車線で供用開始
	2010(平成22年)	国際定期コンテナ航路5航路となる(釜山航路、大連航路、華南航路、上海航路、青島航路)
	2011(平成23年)	日本海側拠点港(国際海上コンテナ)に選定される
	2013(平成25年)	岸壁(-13m)暫定供用開始(水深11m)
	2015(平成27年)	伊万里港臨港道路久原･瀬戸線(伊万里湾大橋)全線4車線で供用開始
	2016(平成28年)	岸壁(-13m)供用開始(水深13m)
令　和	2022(令和4年)	伊万里港臨港道路七ツ島線(七ツ島大橋)供用開始

海とみなとの相談窓口

地域の方々のニーズにしっかりと対応しながら、地域の港湾の活性化や地域振興を地域とともに一層積極的に推進していくため、誰もが相談しやすいワンストップの窓口として「海とみなとの相談窓口」を機能拡充することに致しました。

全国共通フリーダイヤル
おーいに　よくなれ　みなと
0120-497370

受付時間　9：30～12：00、13：00～17：00

※フリーダイヤルご利用の場合は、利用者所在地の港湾空港関係事務所の「海とみなとの相談窓口」へつながります。

唐津港湾事務所

唐津港湾事務所
〒847-0861
佐賀県唐津市二タ子3丁目214番地6
唐津港湾合同庁舎2階
TEL：0955-72-3109

唐津港湾事務所 伊万里港分室
〒848-0031
佐賀県伊万里市二里町八谷搦1292番地
TEL：0955-22-3851

国土交通省 九州地方整備局 唐津港湾事務所
https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/karatsu/

スマートフォンは
こちらから

2023.11